

「類義語」のまとめ

1. 「動詞」編

(1) 「借りる」「貸す」 ㊦頻出!

① 「借りる」

1.borrow : (無料で) 借りる [通例場所の移動を伴う] (ex)本など
borrow A(物) from B(人): BからAを借りる

2.use : (無料で) 借りる [その場で] (ex)トイレ、電話など

3.hire : (有料で) 借りる [短期間]

4.rent : (有料で) 借りる [家・土地を長期間]

㊦本来短期間の賃借りは hire だが、アメリカでは長期・短期にかかわらず rent を用いることが多い。

特に「土地」に関しては lease も用いる。

5.owe A(人) B(金) : AにBの借りがある、AにBを借りている
=owe B(金) to A(人)

(ex) I owe my brother \$5. 兄に5ドル借りている
=I owe \$5 to my brother.

6.作文等用におさえない、その他の「借りる」。

「A(人)の力を借りる」 ⇨ ask (for) A's help

「A(人)の知恵を借りに行く」 ⇨ go to A for advice

「A(人)の言葉を借りて言えば」 ⇨ in A's phrase
to borrow[use] A's words

「酒の力を借りて」 ⇨ with the help of alcohol[drink]

② 「貸す」

1.lend : 物を貸す場合には無料で、金を貸す場合には利子を取って貸す場合にも用いられる。 =loan

lend A(人) B(金・物) : AにBを貸す
=lend B(金・物) to A(人)

2.rent : 有料で物や家屋、車などを貸す場合に限られる。 =let out

(ex) I rented my room to a student during the summer vacation.

私は夏休みの間、部屋を学生に貸した

3.hire : 特定の目的に短期間貸す場合。 (ex) 建物、車、衣装等

4.作文等用におさえたい、その他の「貸す」。

「たばこの火を貸してください」 ⇨ Excuse me, but may I have a light?

「力を貸してください (→あなたの助けが必要だ)」 ⇨ I need your help.

「ちょっと手を貸してくれ」 ⇨ Give me a hand.

「本棚を動かすのに手を貸してください」 ⇨ Please help me move the bookshelf.

「彼は私の忠告に耳を貸そうとしない」 ⇨ He won't listen to my advice.

(2) 「合う」 ㊦頻出!

①fit : (型と型が) 合う

(ex) This jacket fits me perfectly. この上着は私の体にぴったりだ

②match : (物と物、色と色が) 合う、調和している =go with

(ex) The carpet should match the wallpaper.

敷物は壁紙と調和するものでなければならない

③suit : (服や色と人・言動と人が) 似合う、似つかわしい =become

(ex) Black suits you well. 黒がよくお似合いです

④agree : [A(気候・食物) agree with B(人): AがBの体質に合う]

(ex) Cheese doesn't agree with me. チーズは私の体に合わない

㊦上例のように通例、疑問文・否定文で用いる。

⑤adapt[adjust] : [adapt[adjust] oneself to A(環境等): Aに順応する、慣れる]

(ex) She quickly adjusted herself to her new life.

彼女はすぐに新しい生活に順応した

(3) 「書く」「描く」 ㊦頻出!

①write : (文字・文章・書物を) 書く

②draw : (線で絵・図等を) 書く(描く)

③paint : (色を塗って絵等を) 描く

(4) 「認める」「許す」 ㊦forgive が頻出!

①admit :

1. (真実として) 認める

2. (入学を・入場・入室) を許可する

(ex) admit a person to a room 人を部屋に入れる

admit a student to college 大学に入学を許可する

be admitted to hospital 病院に收容される

②concede, acknowledge : (不本意ながら) 認める

③allow, permit, let : (止めずに、正式に) 認める、許可する

特に permit には、物事を主語にとって「(物事が)許す、許可する、差し支えない」という自動詞の用法がある。

(ex) Wether permitting, I'll go there. ☞頻出!

天気が許せば(よければ)、ボクがそこに行きます

④forgive, excuse, pardon : (過失などを) 許す

☞④は後ろに「A(人) for B(物・事)」の形をとることが多い。☞頻出!

(ex) Please forgive me for my impatience. 私の短気をお許してください

I will never forgive him for behaving so badly.

私は彼の不道徳なふるまいを決して許さない

☞excuse は forgive や pardon よりも軽い「過失・違反」を(弁解により)許す場合に用いる。

⑤approve (of) : (積極的に) 同意する=agree to, consent to

⑥recognize, appreciate : (価値を) 認める、評価する

(ex) recognize a new government 新政府を認める

He recognized the girl to be honest.

彼はその少女が正直であることを認めた

(5) 「傷つける」 ☞①と②の違いが頻出!

①injure : [事故等で] (人の体を) 傷つける =hurt

②wound : [武器、刃物等で] (人の体を) 傷つける

③hurt : 1. [事故等で] (人の体を軽く) 傷つける

2. (精神的に) 傷つける

④damage : (物を) 傷つける、損害を与える

⑤destroy : (建物を) 破壊する、(希望・計画等を) 台無しにする

⑥spoil : (価値を) そこなう、駄目にする / (人間を) 甘やかす

(6) 「疑う」 會①と②の違いが頻出!

- ①doubt : ㊦ doubt は「don't think:~と思わない」と同じと考えよ。
- ②suspect : ㊦ suspect は「think:~だと思う」と同じと考えよ。
- ③wonder : 不思議に思う

(7) 「(金 犠牲) ~かかる =cost」と「(時間 労力が)かかる =take」。 會頻出!

- ①It costs [A(人)] B(金・犠牲) to do[原形]~. : [Aが]~するのにBかかる
(ex) It cost me two dollars to repair the shoes. cost-cost-cost
その靴を修理するのに2ドルかかった
- ②It takes [A(人)] B(時間・労力) to do[原形]~.: [Aが]~するのにBかかる
=It take B(時間・労力) for A(人) to do[原形]~.
(ex) It took me two hours to read the magazine.
その雑誌を読むのに2時間かかった

(8) 「~になる」「~するようになる」 會頻出!

- ①become C[名詞・形容詞・分詞] : Cになる
- ②come[get] to do[原形]~ : ~するようになる、~することになる
(ex) How do you come[×become] to be here?
どうしてここにいることになったのですか
會上例のように become の後に不定詞はこれない。
會「learn to do~」は「(学習を通じて)~できるようになる」。

(9) 「見る」

- ①see : (無意識に) 見る、目に入る ㊦see だけは進行形を作れない
- ②look : (意識的に) 見る ×I was seeing it.
- ③watch : 1. (動いているものをじっと) 見る
2. 見張る、番をする
- ④glance : ちらっと見る
- ⑤stare : (驚いて) 凝視する
- ⑥peek, peep : のぞき見る

(10) 「聞く」

- ①hear : (無意識に) 耳にする、聞こえる ☞hearだけは進行形を作れない
- ②listen to : (意識して) 聞く ×I was hearing it.
- ③ask, inquire of : (人に) 聞く、尋ねる
- ④obey, yield to : (命令等を) 聞く、従う

(11) 「焼く」

- ①broil, grill : (直火であぶって) 焼く
- ②roast : (オーブンで蒸して) 焼く
- ③barbecue : (肉等を丸ごと) 焼く
- ④bake : (パン、菓子等をオーブンで) 焼く
- ⑤fry : (卵等をフライパンで) 焼く、いためる、揚げる
- ⑥toast : (パン等をトースターで) 焼く
- ⑦burn : (黒焦げになるまで) 焼く

(12) 「言う」

- ①stress, emphasize : 強調して言う
- ②repeat : 繰り返して言う
- ③mention, refer to : ~について話しに出す, 言及する
- ④remark, state : はっきり述べる、十分に述べる、言明する ☞sayより堅い語。
- ⑤whisper : ささやいて言う、小声で言う
- ⑥murmur : つぶやいて言う
- ⑦chat : 談笑して言う、歓談して言う
- ⑧exaggerate : 誇張して言う
- ⑨point : 指摘して言う
- ⑩insist, claim : 主張して言う
- ⑪explain : 説明して言う
- ⑫declare : 宣言して言う
- ⑬hint, suggest, imply : それとなく言う, 示唆して言う
- ⑭advise : 忠告して言う
- ⑮confess : 白状して言う
- ⑯order, command : 命令して言う
- ⑰persuade : 説得して言う

⑮direct : 指図して言う ☞order[command]ほど命令的ではない。

(13)「訴える」

①sue A : A(人)を(裁判所に)訴える

②appeal to A : 1.A(人の心)に訴える
2.A(手段・世間・理性等)に訴える
3.A(人)を(裁判所に)訴える

③resort to A : A(好ましくない手段)に訴える
(ex) He resorted to violence. 彼は暴力を振るった

④complain of/about A : A(苦情・不平)を訴える、言う

☞ claim は1.「A(権利など)を要求する」2.「A(事柄など)を主張する」なので注意。
(ex) I claimed payment from him. 私は彼に金を払ってくれと要求した
Both sides claimed the victory. 両方とも勝ったと主張した

(14)「降る」

①It rains. : 雨が降る

②It drizzles. : 霧雨が降る

③It showers. : にわか雨が降る

④It snows. : 雪が降る

⑤It hails. : あられが降る

⑥It sleet. : みぞれが降る

(15)「引く」

①full, draw : 引っ張る

②lead : 導く

③take away : 引き算する

④install : (電話等を)引く

⑤quote : (言葉等を)引用する

⑥draw : 線を引く

⑦retire : 身を引く、引退する

⑧withdraw : (手足、体・軍隊を)引っ込める、撤退させる

⑨consult a dictionary : 辞書を引く

=refer to a dictionary

- ⑩look up a word in the dictionary : 単語を辞書で引く
- ⑪play the piano : ピアノを弾く
- ⑫run over A : (車等が) Aをひく、はねる
- ⑬saw : (のこぎりで) ひく
- ⑭pick : (カードを) 引く

(16) 「教える」 會①と②の違いが頻出!

- ①tell, show : (道順等を) 教える
- ②teach : (知識・教訓等を) 教える ㊦「道を教える」程度ではteachは使わない点に注意。
- ③educate : (人の長所を引き出して) 教育する、しつける
- ④instruct : (知識や技術を組織的に) 教え込む

(17) 「受ける」

- ①catch : (手で) 受けとめる
- ②accept : (物事を) 受け入れる
- ③receive : (手紙等を) 受け取る
- ④take, sit for : (試験を) 受ける
- ⑤suffer : (被害・苦痛を) 受ける
- ⑥be attacked : (攻撃を) 受ける
- ⑦be influenced : (影響を) 受ける

(18) 「結ぶ」

- ①tie : (ひも等を) 結ぶ
- ②link A with B : AとBを結びつける
=connect A with B
=associate A with B
- ③conclude : (協定等を) 結ぶ
- ④close : (話・会等を) しめくくる、終わる =end
- ⑤bear fruit : 実を結ぶ
- ⑥bind : 1.(物を)縛る
2.(精神的に)結びつける

3.(精神的に)束縛する

(19)「笑う」

- ①laugh : (声を出して) 笑う
- ②smile : (にっこりと声は出さずに) ほほえむ
- ③giggle : (若い女性や子供が) くすくす笑う
- ④chuckle : (満足気に) くっくつと笑う
- ⑤sneer : (軽蔑するように) あざ笑う、冷笑する
- ⑥grin : (喜び、満足を表わして) 歯を見せて笑う
- ⑦snicker : (大人の男性の軽蔑的な) 忍び笑い、くすくす笑い

(20)「泣く」「鳴く」

- ①cry : (最も一般的に) 泣く、泣き叫ぶ
- ②weep : (声を上げずにしくしくと) 涙を流して泣く [cryよりも堅い表現]
- ③sob : (声を上げて) むせび泣く、嗚咽する [通例悲劇的な出来事を連想させる]
- ④whimper : (子供等が) めそめそ泣く
- ⑤wail : (悲しんだり苦しんだりして長時間) ぎゃあぎゃあ泣く
- ⑥bark : (犬等が) 吠える
- ⑦mew : (ネコがニャーと) 鳴く
- ⑧sing : (小鳥が) 鳴く
- ⑨howl : (狼や犬等が) 遠吠えする

(21)「流れる」

- ①flow, run : (水が) 流れる
- ②pass : (時間が) 流れる
- ③circulate : (うわさ等が) 流れる

(22)「直す」「治す」

- ①repair, fix : (機械・器具を) 直す、修理する
 會「直す」には mend もあるが、通例 mend は布製品の修理に限られ、その他の場合にはrepairが用いられる。また fix はmend, repairいずれの場合にも用いられる。
- ②correct : (綴り、文章、言葉等を) 直す

- ③vary : (一部を) 手直しする、変更する =alter
- ④change : (全面的に) 変更する、変える
- ⑤adjust : (合うように) 直す、調節する
- ⑥translate, put : 翻訳する
- ⑦cure : (病気等を) 治す =heal、(悪癖を) 直す

(23) 「破る」 ㊦break one's promise(約束を破る)などは頻出!

- ①tear, rip : (紙・布等を) 引き裂く
- ②break : (物を) 壊す、(約束を) 破る ⇔keep one's promise「約束を守る」
- ③violate : (法・規則等に) 違反する
- ④beat, defeat : (相手を) 負かす、打ち破る

(24) 「やめる」

- ①stop A : (動作・行為等を) やめる
- ②give up A : (行為・習慣等を) やめる、あきらめる
- ③resign (as) A, quit A : (Aを) 辞職する
- ④retire from A : (Aを定年で) 引退する

㊦基本的に自動詞で「～を引退する」という場合、retire from A と、from を取る。
他動詞として用いられると retire A(人) で「Aを(定年を理由に)解雇する」となる。

- ⑤withdraw from A(組織・団体等) : (Aから) 脱退する、引退する
- ⑥be fired[dismissed] : 解雇される

(25) 「ケンカする」

- ①quarrel : 口喧嘩をする
- ②fight : (手を出して) 喧嘩する
- ③argue : (議論等で感情的になって) 口論する
- ④row : (夫婦で) 喧嘩する

(26) 「分かる」

- ①understand~ : 〈人・事・物〉を理解する[している]
~の意味・気持・性質・扱い方などがわかる

(ex) I (can) understand[×am understanding] your position perfectly.

あなたの立場は十分に理解しています

(注)can は進行形の代用として使われている。

㊦「get it:わかる」も understand と同意だが、会話で用いる。

②see~ :(見て)わかる、~を理解する

〈事〉がわかる、~を理解する

[S+V+ (that)節/wh節[句]] ~ということがわかる、~に気付く
~を理解する

(ex) I can't see how she sold her engagement ring.

彼女がどうして婚約指輪を売ったのか理解できない

㊦see は understand より口語的な表現で、見て分かることだけでなく思考の結果了解することにも用いる。口語では catch や get も see と同様の意味で用いられる。

③comprehend~:~がわかっている

㊦comprehend は書き言葉に用いる。

〈人・物・事(の性質・意味)〉を(知的に十分に)理解する

④grasp~ : 〈意味など〉を[~であることを]理解する =take

(ex) He grasped[took] her meaning clearly.

彼は彼女のいう意味をはっきり理解した

⑤make out~ : [通例 can を伴い否定・疑問文で] 〈人・考えなど〉を理解する

[make out that節/wh節・句] ~だとわかる

⑥appreciate~ : 〈物・事〉を[~であることを]正しく理解する,

(その良さなどを) 正しく認識する

⑦follow~ : [通例否定・疑問文で] 理解する

〈人〉の言うことを理解する

〈人(の言葉)・話の筋など〉を理解する

⑧figure (out)~ : (考えた末に)~を理解[解釈]する

(ex) I can't figure (out) her. 彼女を理解できない

⑨find out~ : 〈調査・やってみた結果として〉分かる

(ex) We must find out what the truth is.

我々は真相を見つけ出さなければならない

㊦find にも「わかる」という意味があるが、find out と違って偶然性を含む。

⑩realize~ : 〈事〉を悟(さと)る、はっきり理解する、(実感として)~がよくわかる

⑪get at～ : 〈真実など〉をつかむ, 知る

⑫get hold of～ : ～を理解する
～を学ぶ

⑬recognize: (人が)が誰であるかわかる

(ex) Do you recognize me? 私が誰だかわかりますか

How will I recognize[know] you?

(初対面の人と待合せする時に)何か目印になるものはありますか

⑭《その他》

get the idea 理解する

see the light 正しい筋道がわかる

[問題などを] 理解する

absorb the full meaning of a remark 言葉の意味を完全に理解する

make an interpretation of[put an interpretation on] his silence

彼の沈黙の意味を理解する

have a good[poor] grip on[of] English grammar 英文法をよく理解している[いない]

(27) 「〇〇を守る」

①guard A(人) : Aを〔攻撃・危害などから〕守る

(ex) They guarded him against[from] attacks.

彼らは彼が襲撃されないように守ってやった

②defend A(人・場所) : Aを〔敵・危害などから〕防御する、守る ⇔attack

(ex) defend him from harm 危害から彼を守る

③protect A(人・場所): Aを保護する

Aを〔危険などから〕守る

(ex) protect him from disease 彼を病気から守る

④preserve A(人・動物等) : Aを〔…から〕守る、保護する

(ex) May Heaven preserve us from danger!

神様が危険から私たちを守ってくださいますように

⑤secure A(人・物) : Aを〔危険などから〕守る、安全にする

(ex) secure the valuables from robbery 貴重品を盗まれないように守る

⑥keep A(約束・秘密等) : Aを守る、A(法律・条約・慣例等)に従う

(ex) keep one's day 期日を守る

He has always kept his word[promise]. 彼は常に約束を守ってきた

⑦obey A(人・命令・規則等) : Aに(良いと判断して)従う、守る ⇔disobey

(ex) We should obey traffic rules. 交通規則は守らねばならない
=Traffic rules should be obeyed.

⑧observe A(法律等) : Aを守る ⇔violate

(ex) observe the decencies 礼儀を守る

⑨follow A(命令等) : Aを守る

A(例・慣習等)に習う

(ex) This rule is followed in most households.

この慣習はたいていの家庭で守られている

(28) 「～した方がいい」

①should, ought to : 道徳的にまたは一般的に賢明と思われることを助言する言い方だが、ought toの方が客観的で強意的な語。疑問文・否定文のときはshouldの方が普通。

②had better : 助言に従わないと取り返しのつかないことになるような緊急事態における警告として用い、状況次第では脅迫にもなりかねないので目上の人には用いない方がいい。

③may[might] (just) as well : 「してもしなくても大した違いはないが、そうしても悪くはない」の意。had betterとは違い、特に「勧める」含みのない婉曲的な言い方。

④it would[might] be better to : 客観的に何かと比較してそうする方がいいことを表わす(mightを使う方が控えめな言い方)。

(29)使役の have と get のニュアンス、用法の違い。

①have+O+ $\left\{ \begin{array}{l} \underline{\text{do[原形]}} \sim \\ \text{C} \\ \underline{\text{p.p.}} \sim \\ \text{C} \end{array} \right. \begin{array}{l} \text{「Oに～させる(してもらう)」} \\ \\ \text{「Oを～される(してもらう)」} \end{array}$

②get+O+ $\left\{ \begin{array}{l} \underline{\text{to do[原形]}} \sim \\ \text{C} \\ \underline{\text{p.p.}} \sim \\ \text{C} \end{array} \right. \begin{array}{l} \text{「Oに～させる(してもらう)」} \\ \\ \text{「Oを～される(してもらう)」} \end{array}$

會使役動詞の have と get 。そのニュアンス、用法の違いは以下の通り。

have+O+do[原形]～: ①Oは、**しかるべき職業の人**で、その人に**料金を払って**「ある仕事・サービスをさせる[してもらう]」。

(ex) I had the engineer repair my car.

私はそのエンジニアに車を修理してもらった

②**目上のものが目下の者に**「…させる」という文脈で用いる。

(ex) I had my son carry my bag. 私は息子に鞆を運ばせた

會したがって

I had my teacher[**boss**] check the letter.

私は先生[上司]に手紙をチェックしてもらった

は不可。

I got[**asked**] my teacher[**boss**] to check the letter.

などとする。

get+O+to do[原形]～: S(人)が(**説得・努力**等して) O(人・物)に…させる、してもらう

→

(ex) I couldn't get him to stop smoking.

彼にタバコをやめさせられなかった

I got the door to shut properly. ドアをきちんと閉めた

have+O+p.p. ～: ① [受益の意味の使役・依頼] [物] を…させる、…してもらう

≒get+O+p.p.

會getの方が語感が強い。過去時制ではhadが、命令文ではgetが普通。

(ex) He had[got] his house built. 彼は家を建てた

He hasn't had[got] his hair cut (for) three months.

彼は3か月散髪していない

② [不利益を表す受身の意味・被害] [物] を…される

會この意味でget+O+p.p. を用いるのは、S(主語)に何らかの責任の含みがある場合。目的語が「(本人の)身体の一部」の場合が多い。

(ex) She had[×got] her ring stolen. 彼女は指輪を盗まれた

I had[got] my leg broken in the accident.

私はその事故で足の骨を折ってしまった

③ [完了・状態] …してしまう、…し終える =get+O+p.p

會主としてアメリカ用法。getの場合、S(主語)が「私(自分)」になり、「(自分で)～してしまう」の意味になる。

(ex) I had[got] my homework done. 宿題をすっかりし終えた

have+O+doing~:①[思い通りの結果や思わぬ成行きを表す]

(ex) He has the water running in the bathtub.

彼は浴槽に水を出したままにしている

I won't have you saying such things about my sister.

姉さんのことを君なんぞにそんなふうに言わせてはおかないぞ

②[どうしようもない出来事や手はずを整えた事柄を表す]

(ex) I have a headache coming on. 頭痛がしてきた

If you make such a noise, you'll have the neighbors complaining.

もしそんな音を立てると近所の人々が苦情を言うだろう

(30) 「私の家は駅から遠い」

My house is a long way (off[away]) from the station.

It's a long way to my house from the station.

=It's a long way to the station from my house.

罨 「to+場所」が続くときはoff, awayをつけない。

[解説] ①farは漠然と遠く離れていることを表わし、通例否定文・疑問文で用いる。

肯定文ではa long way (off[away])などを用いる。ただしtoo, so, as, very, away, offなどを伴うときは肯定文でも用いられる。

○My house is a long way (off[away]) from the station.

×My house is far from the station. 私の家は駅から遠い

○Is the station far from here?

○The house is not far from here.

○How far is it from here to the station?

②distantは簡単に到達できない非常に遠方を表わす。

×My house is distant from the station.

○The moon is distant from the earth.

③ faraway(形), far-off(形)はfarを強めた形でやや堅い語。remote(形) は
辺り・不便さを暗示し到着の困難を表わす

(ex) a house remote from the village 人里離れた家

faraway places 遠方の場所

④away は距離や時間を表す名詞の後につけて「〇〇の距離(時間)を置いて」「〇〇だけ離れて(先に)」。

(ex) The lake is three miles away [×far] from here.

湖はここから3マイル離れている

The exams are only a week away. 試験までもう1週間しかない

I was two months away from graduating from high school.

高校卒業まであと2か月だった

Ⓢ上記のような具体的な距離を表す名詞があった場合には far は用いない。

(31) 「訪ねる」

①visit A(人・場所)…長期の訪問にも用いる最も一般的な語

②pay a visit to A(人・場所)…特定の目的で訪ねる。より堅い言い方

③call on A(人)/call at A(場所)…1.職務、儀礼で訪ねる

2.ちょっと立ち寄る

④drop in on A(人)/drop in at A(場所)…予定もなくひょっこり立ち寄る

⑤come to see A(人)…遊びに行く(くる)

=come and see A(人)

=come over to A(場所)

「われわれはきのう田中氏を訪ねた」

We visited Mr. Tanaka yesterday.

We paid[made] a visit to Mr. Tanaka yesterday.

We called on Mr. Tanaka[at Mr. Tanaka's house] yesterday.

Ⓢ「田中氏を会社に訪ねる」のように人と場所を同時に表わすときは
visit Mr. Tanaka at his officeのようになる。

「おばが今日訪ねてくる」

My aunt is coming to visit today.

「彼がゆうべ僕[僕の家]をひょっこり訪ねて来た

He dropped in on me [at my house] last night.

「いつか当地においでになったらお訪ねください」

Come and see me[Come over to my house] if you're ever here.

Ⓢcome and seeはcome to seeより口語的。

(32) 「すすむ」

① 「前進する」

advance proceed
move forward make one's way
go ahead
feel one's way: 手探りで進む
push one's way: 押しつけて進む

② 「進歩する」

make progress
advance
improve A: Aが上達する

③ 「光は音よりもずっと早く進む (→伝わる)」

Light travels much faster than sound.

④ 「この分野では日本は他の国々より5年は進んでいる」

In this field, Japan is at least five years ahead of other countries.

⑤ 「私たちは決勝に進んだ」

We reached[advanced to] the finals.

⑥ 「ぼくの時計は1か月に1分進む」

My watch gains a minute a month.

⑦ 「この時計は5分進んでいる」

This clock is five minutes fast.

cf; 「私の時計は月に2秒遅れる」

My watch loses two seconds a month.

「この時計は2分遅れている」

This watch is two minutes slow.

(33) rob と steal 會頻出! rob と steal では「人」と「物」の順番が逆。

① rob A(人) of B(物) : AからBを奪う

會受身は「A(人) is robbed of B(物): AはBを奪われる」。

② steal A(物) from B(人) : AをBから盗む

steal-stole-stolen

會受身は「A(物) is stolen from B(人): AがBから盗まれる」。

④ちなみに「Aを盗まれる」という表現は、使役動詞の「have+O+C[p.p.]:OをCされる」を用いて以下のようにも表現できる。

have A(物) stolen : Aが盗まれる
O C

(ex) I had my bag stolen. 私は鞆を盗まれた

意味上の主語の関係になるOが my bag と「物」を表す名詞なので、Cに robbed はこない。

(34) 「会う」

①see : 1.人と顔を合わせる

2.人を見かける ④相手がこちらを認識していなくても使える

(ex) I'm glad to see[meet] you again. またお会いできてうれしい

I saw her several times on (the) campus. 学校の構内で数回彼女を見かけた

②meet : 1.(初対面で)正式の紹介などによって人と近づきになる

2.人に偶然に出会う

(ex) "I'd like you to meet my friend Peter." 友人のピーターを紹介いたします

"I'm glad to meet you" 近づきになれてうれしいです

=Nice to meet you.

④初対面の時は meet の代わりに see は使えない

I met her at the station. 駅でばったり彼女に出会った

③meet with : 人に偶然会う、事故や障害などに遭遇する、親切・不幸などを経験する

(ex) Once or twice he had met with Arabs. 一二度はアラブの人々に偶然に出会った

I met with an accident on my way home. 私は帰りに事故にあった

④encounter : 危険や困難に遭う、直面する、思いがけない人に会う ④固い表現

(ex) She encountered problem after problem. 彼女は次々と困難に直面した

I encountered an old friend whom I hadn't seen in three years.

3年ぶりに旧友にひょっこり出会った

(35) 「うつ」

①strike : 1. [...を目がけて] 打つ、なぐる、攻撃する

(ex) Strike while the iron is hot. (ことわざ)鉄は熱いうちに打て

2. 〈人・物など〉を打つ、たたく、なぐる =hit
 (ex) be struck by (a bolt of) lightning 雷に打たれる
3. 〈時計・鐘が〉打つ、鳴る 頻出!
 〈時計・鐘などが〉〈時〉を打って知らせる =toll
 〈鍵(けん)〉を打ち鳴らす
 (ex) strike a note on the piano ピアノの鍵を打つ
 This clock strikes the quarters. この時計は15分ごとに打つ

4. 〈人〉の心を打つ =touch, move
 〈人〉に…(である)という感じを与える
 [be struck on O]…に好感を持つ、…に感銘を受ける
 (ex) I was struck by[with] her beauty. 彼女の美しさに打たれた
 be struck with awe 畏敬の念に打たれる

- ②hit : […を狙いを込めて一回だけ] 打つ、たたく、なぐろうとする
 〈人・物が〉 〈人・物〉を […で] 打つ、たたく、なぐる
 (ex) hit a ball with a bat バットで球を打つ

ヒット(ボール)を打つ

- ③beat : 〈人・物が〉 […を] 続けざまに(どンドン)打つ、たたく
 (罰として)…をむち[杖(つえ)]で打つ、…の尻(しり)をぶつ
 〈心臓が〉鼓動する、[喜びなどで] ときどきする [with]
 〈脈が〉打つ =pulsate

- ④knock : 〈人などが〉 O (人・物) を(何度も)打って[にあたって]…(の状態)にする

- ⑤touch : ~を軽く打つ[たたく、押す]

- ⑥whip : 〈人・動物〉をむち打つ
 ~をせっかんする

〈動物〉をむち打って駆りたてる

- ⑦slap : (平手・平たいものなどで) 〈人〉の […を] ぴしやりと打つ

(ex) slap one's knee 膝を打つ

He slapped me in[on] the face[on the back].

=He slapped my face[back]. 彼は私の顔[背中]をぴしやりと打った

- ⑧smash : …をバシッと打つ

〈人〉 [の体の一部] を強打する [on, in]

- ⑨flap : 人が (平たくしなう物で) [物を] (軽く)ピシッと打つ、たたく

- ⑩drum : […を/指などで] (律動的に)トントン打つ、コツコツたたく、(太鼓を)打つ

⑪bang : […を] ドンドン打つ[たたく]

⑫hammer : […を] つちで打つ

どんどんたたく

〈物〉をつちで打つ[たたく]

〈くぎなど〉を〔物に〕打ち込む

(ex) nail a box together (ぞんざいに)くぎを打って箱を作る

⑬lap : 〈波などが〉〈岸など〉に打ち寄せる、〈船べりなど〉をひたひた

⑭point : 〈文など〉に句読(くとう)点を打つ =punctuate

⑮dot : 点を打つ

⑯advance : 〈手付け金〉を打つ

(ex) advance money on an agreement 契約の手付け金を打つ

⑰send a telegram : 電報を打つ =wire

(ex) send her a congratulatory telegram[cable] 彼女に祝電を打つ

send a message by wireless 無電を打つ

⑱radio : […に] 無電を打つ、無線連絡をする

⑲tap out an SOS : SOSを打つ

⑳concrete : コンクリートを打つ

type : タイプライターを打つ

〔原稿の〕タイプを打つ

(ex) Note how to type[how I type]. どのようにタイプを打つかよく見ていなさい

shoot : (銃・弓などで) [人・動物など] を撃つ shoot-shot-shot

…を射殺する

〔鳥など〕の狩猟をする

(ex) Don't shoot wild animals. 野生動物を撃ってはいけない

(36) 「疑う」

①challenge : 「挑戦する」という意味以外に「異議を唱える」という意味もあるが
後ろに that節をとることはない。

(ex) He challenged the accuracy[正確さ] of my statement[発言].

彼は私の言っていることは正確でないと異議を申し立てた

②question : 「質問する」という意味以外に「疑わしいと思う」という意味もあるが、
その場合、後ろには whether節や名詞が来るのが普通。

(ex) I question the truth of his story.

彼の話はどうもほんとはでないような気がする

I question whether he will succeed. 彼が成功するかどうか疑わしい

③doubt と suspect。 ㊦頻出!

1.doubt : don't think と同じと考えよ。つまり「思わない」という意味。

2.suspect : think と同じと考えよ。つまり「思う」という意味。

(37)「似ている」 ㊦頻出!

①前置詞の like を用いた例文。 ㊦前置詞なので、必ず直後に名詞が必要。

(ex) Her house is (very much) like mine. 彼女の家は私の家と(たいへん)似ている

Italy is like a boot in shape. イタリアは形が長靴に似ている

㊦このlikeと共に用いることのできる動詞は be, feel, look, seem, smell, sound, taste など。

②形容詞の alike を用いた例文。 ㊦be[look] alike 等といった形で用いる。

(ex) The twin girls are[look] so much alike that I can't tell one from the other.

そのふたごの女の子はとてもよく似ていて私には区別がつかない

Wealth or poverty is alike to me. 金があろうとなかろうと私には同じことだ

㊦alike をはじめ、a ではじまる形容詞は、補語としてのみ使える。つまり「alike+名詞」のように、前から名詞を修飾するということはできない点に注意。

③形容詞の similar[akin] を使って「A is similar[akin] to B: AはBに似ている」。

(ex) A wildcat is similar[akin] to but smaller than a lion.

ヤマネコはライオンに似ているが、より小さい

④動詞の resemble を使って「A resemble B: AはBに似ている」。

(ex) he resembles[×is resembling] her sister in appearance but not in character.

彼女は外見が姉と似ているが性格は異なる

⑤動詞の take を用いて「A take after B: AはBに似ている」。

(ex) He takes[×is taking] after his father in disposition.

彼は性質が父親に似ている

㊦take afterは「親子関係」において用いる。

⑥動詞の look を使って「A look like B: AはBに(外見上)似ている」

(ex) This picture looks like that one. =The two pictures look alike.

この絵はあの絵と似ている

⑦副詞の likewise 「同様に」を用いた例文。

(ex) He hated her, and she hated him likewise.

彼は彼女を憎んだが、彼女も同じように彼を憎んだ

⑧形容詞の same を用いた例文。

㊦the same という形でしか使わない。また限定用法で（つまり名詞を直接修飾する形で）用いる。

(ex) in the same way 同様に

We both go to the same school. 私たちは同じ学校に通っています

They were born on the same day. 彼らは同じ日に生まれた

㊦likelyは「可能性がある」という意味。以下の表現が頻出。

S is likely to V～ :～する可能性がある、～しそうだ

=It is likely that S+V～

(ex) It is likely that he will succeed.

=He is likely to succeed. 彼は成功しそうだ

(It is likely for him to succeed. とはいえない)

またlikelyは「副詞」として、「おそらく(=probably)」という意味もある。

(ex) He will likely[=probably] be in Paris tomorrow.

彼はたぶん明日はパリにいるだろう

Most likely he will succeed in the test.

おそらく彼はその試験には受かるだろう

I shall very likely stay at home all day.

私はおそらく一日中家にいるだろう

(38) 「行く」 ㊦頻出!

①go : 自分を中心にして自分がいる場所からよそへ(離れて)行く動作を表す。

②come : 相手のいる[行く]場所などへ自分が近づいて行く動作を表す。

(ex) I will go to Okinawa during this winter vacation.

ぼくはこの冬休みに沖縄に行く予定だ

I'll come over (to your house) tomorrow.

明日、きみのうちに行くよ

(39) 「～しがちだ」

①tend to do[動]～: <人・物・事が> ～する傾向がある,～しがちである,よく～する

(ex) Her novels tend to dullness[be dull]. 彼女の小説は退屈になりがちだ

He tends to laziness. 彼は怠惰に走りがちだ ㊦「tend to A(名)」という形もある。

②incline to A : (体質・気質的に) A/ ~する傾向がある

be inclined to do[原形] ~

(ex) He is inclined to be rude to others. 彼はとかく他人に礼を失する傾向がある

③be apt to do[原形] ~

be liable to do[原形] ~

be prone to do[原形] ~

☞通例これらは好ましくないことに対して用いる。

(ex) He is apt to be careless. 彼にはどうも軽率なところがある

Difficulties are liable to occur. とかく面倒は起りがちだ

We are more prone to make mistakes when we are tired.

疲れている時の方が間違いをしがちだ

(40) 「見える」

①seem : 話者の主観的な印象に基づいて「(私には) そのように思える」という意味。

客観的事実に基づいた場合にも用いる。。

S seems to V ~

(ex) She seems to be happy.

=It seems that S + V ~

=It seems that she is happy.

②appear : 客観的な事実に基づいて「(実際はどうか疑わしいが、外見上は誰がみても) ~のように見える」と、外見をより強調した言い方。seem より形式ばった表現。

③look : (目で見た感じ) 外見がそう見え、実際にもそうであるというニュアンスを含む。

(ex) He looks young for his age. 彼は歳のわりには若く見える

(41) 「(仕事等を)辞める」 會頻出!

①leave : 辞める理由が不明であることが多い。

(ex) I seriously considered leaving the office.

私は本気で会社をやめることを考えた

leave school と言った場合、アメリカでは「学校を辞める → 退学する」、

イギリスでは「卒業する」という意味にもなる。

②quit : 自己の都合や意志で辞める。

以下のように「仕事」以外も目的語に取る。

(ex) He quit smoking[cigarettes]. 彼はタバコをやめた

Quit worrying about me. 僕のことは構わないでくれ

③resign : (職・地位等を) 辞職する、辞任する

(ex) The minister resigned his office. その大臣は辞職した

自分の意志または一身上の都合で retire すること。quit に近い。

自動詞として resign as[from] A で、「Aを辞職する」となることもある。

また resign oneself to A , be resigned to A で「Aに従う、Aに身を任せる」という語法もある。

(ex) He was resigned to Heaven's will. 彼は天命に従った

She resigned herself to sleeping. 彼女はあきらめて眠った

④retire : (定年で) 退職する、引退する

(ex) My father retired at the age of 65. 父は65歳で退職した

He retired from the railway company. 彼は鉄道会社を退職した

基本的に自動詞で「Aを引退する」という場合、retire from A と、前置詞の from を直後に取る。

他動詞として用いられると retire A で「Aを(定年を理由に)解雇する」となる。

(ex) They retired the jockey from horse racing.

彼らはその騎手を競馬から引退させた

もちろん(他動詞の retire も) be retired とすれば「引退する」という意味になる。

(ex) My father is comfortably retired in the country.

父は退職して田舎で気楽に暮している

2. 「名詞」編

(1) 「迷惑」「心配」「苦痛」

- ①trouble : 迷惑、面倒 =bother
- ②care : 心配、気遣い
- ③anxiety : (悪い結果を予想した) 心配、不安
- ④concern : (関心のあるものに対する) 心配、不安
- ⑤worry : (無用な) 心配、心痛
- ⑥pain : 苦痛、苦しみ
- ⑦labor : 労働、骨折り =pains
cf; 努力する、骨を折る =make efforts, take pains[trouble] 頻出!

(2) 「客」 頻出!

- ①visitor : 1.訪問客(=caller)
2.観光客(=tourist,sightseer)
- ②guest : 招待客、ホテルの客 ⇔host,hostess
- ③customer : (商店などの) 顧客
- ④client : (医者・弁護士の) 患者・依頼人
- ⑤spectator : (スポーツの試合等の) 観戦客、見物人
- ⑥audience : (コンサート等の) 観客、聴衆
- ⑦passenger : 乗客
- ⑧commuter : 通勤客

(3) 「料金」等 頻出!

- ①charge : (サービスに対する) 料金、手数料、使用料
- ②cost : 費用、原価

④priceは商品等につける値段であるのに対し、costは生産・入手・維持などのために実際に支払う費用。

(ex) Tom's Garage charges higher prices[×costs] than Steve's Repair Shop does for the replacement of car engines.

トムの修理工場は、スティーブの修理店よりも高い値段を、車のエンジンの交換に対して請求した

- ③debt : 借金

- ④fare : (交通機関の) 運賃
- ⑤fee : 1.入場料、入学金(=admission fee)
2.授業料(=school fee)
3.(弁護士、医者等への)謝礼
- ⑥fine : 罰金
- ⑦postage : 郵便料金
- ⑧price : (物の) 価格
- ⑨rate : 光熱費や電話代等
- ⑩interest : 利子、利息
- ⑪tax : 税金
- ⑫toll : (道路等の)通行料、使用料
- ⑬bill : (ホテル・水道等の)料金
- ⑭due : 1.[one's due] 当然支払われる[与えられる]べきもの
(ex) He finally has received his due.
彼はついに当然の報いを受けた
2.[dues] 会費、使用料、手数料、税、料金、賦課金
(ex) club dues クラブの会費
membership dues 会費
- ⑮fund: 基金

(4) 「働いている人」

- ①worker : (最も一般的に) 働く人
- ②employee : 従業員 =the employed ⇔ employer「雇い主」
- ③part-timer : パート、アルバイト ⇔ full-timer「専任」「常勤者」
- ④laborer : 肉体労働者
- ⑤clerk : 事務員、店員 cf; a bank clerk「銀行員」
- ⑥secretary : 秘書
- ⑦receptionist : 受付係
- ⑧executive : 重役、管理職(員)

(5) 「収入」 彙頻出!

- ①pay : (サービス等に対する) 報酬
- ②salary : 給料

- ③income : 収入
- ④wage : (肉体労働に対して支払われる) 賃金
- ⑤fee : (医者・弁護士等に支払われる) 謝礼

(6)「旅」

- ①journey : (陸路で行く遠方への) 旅、旅行
- ②travel : (最も一般的に使う) 旅
- ③trip : (特定の場所への短い) 旅
- ④voyage : (船で行く) 旅、船旅
- ⑤tour : (観光、視察目的の) 旅

(7)「仕事」「職業」

- ①job : 報酬をもらってする仕事、勤め口の意。または具体的で永続的なまた臨時の仕事。
- ②work : ある意図をもって行なう努力を伴う活動を示し、広く仕事を意味する「仕事」という抽象的な概念を表わす平易な語。
最も一般的・包括的な語で、あらゆる意味での仕事・労働をいう。
通例、抽象的な意味での仕事。
- ③task : 課せられた仕事。(workよりも)困難を伴うことが示唆されている。
- ④labor : 主として肉体的な激しい労働。=toil
疲労、不快感を伴うことを含意する。
- ⑤career : 訓練や専門的な教育を要する仕事。または生涯の経歴。
- ⑥business : 利益を目的とする商業活動などの仕事。

④one's businessは自分の経営している事業・商売をさすので、単に自分の従事している仕事をいう場合はone's jobを用いる。

(ex) I like my job. 仕事が気に入っています

⑥単に「やるべき事・仕事」の意味で business を用いない。

(ex) Do you have anything[any ×business] to do this evening?

今晚仕事がありますか

- ⑦vocation, calling : (神から与えられたと感じ、使命感をもってする) 仕事、天職。
- ⑧profession : 医者・弁護士・教師・技術者・作家等、知的な専門知識や訓練を必要とする職業。
- ⑨occupation : 職業をさす最も一般的な語で、正式な文書などにも使うやや堅い語。

日本語の「職業」に最も近い語。

⑩trade : 手を使ってする熟練を要する職業。

㉔work と business だけが「不可算名詞」(businessは「可算名詞」として用いられることもあり)。

(8)「影」「陰」 ㉔頻出!

①shadow : 物体が光をさえぎったときにできる、その物体の形をした部分[影]。

(ex) the shadow[×shade] of a dog 犬の影

②shade : 光線が直接当たらないためにできる周囲よりも暗く温度の低い部分。

日陰、木陰。

(ex) We rested in[under] the shade[×shadow] of the trees.

私達は木陰で休んだ

【演習】

1. We rested in[under] the () of the trees.

2. He saw the () of a woman on the sidewalk in the dark.

3. The building cast a long () on[over] the field.

4. These leafy trees give us a pleasant ().

《解答》

1. shade 2. shadow 3. shadow 4. shade

1. 私達は木陰で休んだ

2. 彼は暗闇の歩道に女の人の影を見た

3. その建物が野原に長い影を投げかけていた

4. この葉の茂った木は心地よい陰を作ってくれる

(9)「約束」 ㉔①②⑥が頻出!

①promise : 約束

②appointment : 1. 人と会う約束
2. (病院や美容院などの) 予約

③agreement : (～に関する) 協定、契約

- ④rule : 規定、規則
- ⑤subscription : (新聞・雑誌等の購読の) 予約
- ⑥reservation : (座席・ホテル等の) 予約
make a reservation for A: Aの予約をする
=reserve A
=book A

(10) 「ゆるし」 會④が頻出!

- ①admission : (入会、入場、入社、入学) 許可
- ②permission : (書類又は口頭による「～してよいという」) 許可 =consent
=approval
- ③leave : (外出して良いという) 許可
- ④forgiveness : (罪等の) 許し、赦免

(11) 「道」

- ①avenue : 本通り、大街道
- ②street : (街などの両脇に建物が立っていて、歩道がついているような) 道路
- ③road : (都市と都市の間の舗装された) 道路
- ④path : (人工的でない自然にできた細い) 道
- ⑤lane : 1. (建物の脇の細い) 道、(田畑の曲がりくねった) 道
2. ハイウェイの車線
- ⑥way : 具体的な「道」を指さず、Tell me the way. 等のような言い方で用いる

(12) 「怪我」「傷」

- ①injury, wound : 怪我
- ②cut : 切り傷
- ③bruise : 打ち身、(打撲による) あざ
- ④stab : 刺し傷
- ⑤scrape : すり傷
- ⑥scratch : ひっかき傷
- ⑦stain : 汚点、しみ

(13) 「サイン」 ㊦頻出!

- ①sign : 「合図」「星座」「兆候」「印」「標識」 ㊦signに「署名」という意味はない!
- ②signature : (書類などにする) サイン、署名
- ③autograph : (有名人などからもらう) サイン

(14) 「習慣」 ㊦特に①と②の違いが重要。

- ①habit : (個人の無意識的な) 習慣
- ②custom : (社会的な) 習慣、慣習 =convention
- ③practice : (個人が意識的に身につける) 習慣

(15) 「移民」 ㊦頻出!

- ①immigration : (外国からやってくる) 移民 ㊦imは「中に」、e は「外に」という意味の接頭辞。
- ②emigration : (外国へ出てゆく) 移民

(16) 「天気」「天候」

- ①weather : 天気 [不可算名詞] ㊦weather は「不可算名詞」(つまり数えられない)。
- ②climate : 気候・風土 [可算名詞]

(17) 「景色」

- ①view : ある方向を見たときの(特に遠方の)眺め、風景
- ②scene : 1.特に絵のような構成のまとまりを持ち、一目で見渡せるview
2.(事件等の)現場
3.場面
- ③sight : 特に印象深い光景
名所
- ④scenery : ある場所・地方の地理的外観の全体
㊦これに対し、一つ一つの風景は scene。
㊦scenery だけは「不可算名詞」(つまり数えられない)。
- ⑤landscape : 広々とした陸地の風景、景色 ⇔seascape

(18) 「ゴミ」

- ①garbage : (台所から出る) 生ゴミ

- ②trash : (家庭・オフィスから出る) 小型ゴミ
- ③rubbish : 1.=garbage
2.=trash
- ④refuse : 「廃物」に相当する堅い言い方
- ⑤litter : 道路等に散らかされたゴミ、紙くず

(19) 「ひげ」

- ①mustache : 口ひげ
- ②whisker(s) : ほおひげ
- ③beard : あごひげ

(20) 「約束」「予約」 ③と④が頻出!

- ①promise : (口頭の) 約束
- ②engagement : 1.婚約
2.(文書による) 約束、取り決め、先約
- ③appointment : 1.(人と会うという) 約束
2.(美容院・病院等の) 予約
- ④reservation : (ホテル・チケット等の) 予約
- ⑤rule : 規定
- ⑥agreement : 1.個人的な契約 =contract
2.国家間の条約、協定 =treaty

(21) 「手」「足」

- ①「手」
 - (1)arm : 腕 (肩のつけ根から手首まで) cf; upper arm「上腕部」
 - (2)hand : 手 (手首から指の先まで)
- ②「足」
 - (1)leg : (太もものつけ根から下の部分)
 - (2)foot : (足首から下の部分)

(22) 「価値」

金銭に換算できる価値としては valueも worthも用いるが

1.valueは主として有用性・重要性などに関する価値

2.worthは精神的・道徳的など本質的な価値

についていうことが多い。meritは賞讃に値するよさを表す。

(ex) 「健康の価値」 the value of good health

「文学的価値のある本」 a book of literary value[merit]

「人間の価値」 a man's worth

「この花瓶は100万円の価値がある」 This vase is worth a million yen.

①value : 1.(実用性から見た)価値、値打ち

重要性、有用性

2.価値、値段、(金銭的)価値 會通例高価なものについていう。

(ex) market value 市場価値

The two books are equivalent in value.

その2冊の本は同じ価値がある

②worth : (精神的・道徳的な)価値、重要性、真の値打 會value より堅い語。

(ex) a book of little[great] worth

価値のほとんどない[大いにある]本

(23) 「目的」

①purpose : 目的を意味する最も一般的な語で、手近かですぐ取りかかれるような目的をさすことが多い。

(ex) What is his purpose in going to America?

彼のアメリカ行きの目的は何か

②aim : ある計画なり行動によって実現しようとする具体的な目標を表す語。

(ex) What is your aim in working so hard?

そんなに熱心に勉強して君の目標は何ですか

③object : 努力の目的を具体的に示す語。

(ex) What is your object[purpose] in calling on me?

何を目当てに私を訪ねて来られたのですか

④end : きちんとした計画と手段で到達する目的を表し、means (手段) に対する語。

(ex) She wants to buy a house, and is saving money for this end.

彼女は家を買いたがっていて、それをめどに貯金をしている

⑤goal : 目的を実現するのに長い時間や多大の労力を必要とすることを暗示し、努力が報われることを強調する。

(ex) His goal is to enter a university.

彼のねらいは大学へ入学することである

(24) 「群れ」

- ①flock : (鳥、羊の)群れ
- ②herd : (牛、馬、豚などの)群れ
- ③pack : (犬、狼などの)群れ
- ④school: (魚の)群れ
- ⑤crowd : (人の)群衆
- ⑥troop : (移動する人・サル・アリの)群れ

(25) 「人」

human beings, humans, the human race, humankind, humanity, man, mankind

☞human beings は「(動物に対する)人」という意味が込められる。human beingsの方が humans より一般的。humans は科学的文章で用いられることが多い。man は男女を問わず一般に人(人類全体)をさす。単数無冠詞で用いる。人間の普遍的性質を強調する言い方で、人類学でよく用いられる。mankind は、集合的に人類全体をさす。ほぼ man と同じだが、man にしろ mankind にしろ、男性中心の言い方なので最近では避けられることが多い。最近では、a person/ a human being/ people/ human beings/ the human race/ we などを用いるのが普通。humanity はもっぱら好ましい性格をいうときに用いられる。

(26) 「特徴(性)」

- ①quality : 「きわだった性質」「良質」を意味することが多い
- ②property : その種類に共通の特性
(ex) the properties of oxygen 酸素の特性
- ③attribute : 本質的、固有の属性
(ex) Omnipotence is an attribute of God. 全能は神の属性の1つだ
- ④trait : 通例人間についての特性をいう
(ex) Brown hair is his family trait. 茶色の髪は彼の家族の特性だ
- ⑤character : 精神的、道徳的な性質

(ex) a man of noble character 人格高潔な人

⑥nature : 人または動物の生まれつきの性質

⑦disposition : 個人に固定した性質

(ex) a cheerful disposition ほがらかな性質

(27) cloth 関連。

①cloth : 「布(地)」。複数形が cloths 。

(ex) It takes three yards of cloth to make a suit of clothes.

1着の洋服を作るのに3ヤールの布地がいる

②clothes : 「衣服」上着・ズボンなどの個々の衣類の集まりのことを指して言う。

(ex) a suit of clothes 服1着

Are these clothes for everyday wear? これは普段着ですか

③clothing : 「衣類」。clothesよりやや格式ばった語で、集合的に衣類というものという意味。帽子・靴など身につけるものをすべて含む。

また、個人使用の clothes に対して商売用のものを指して使います。数えるときは an article of clothing(衣類5点)などという。

(ex) men's clothing 男子用衣料品

food, clothing and shelter 衣食住

④clothe : 動詞で、「服を着せる(与える)」という意味。以下の例文のように、受動態で使われることが多い。

(ex) The baby was warmly clothed. 赤ちゃんはあたたかなものを着ていた

He was clothed in white. 彼は白い服をまとっていた

Ⓢ発音問題用には cloth と clothe の違いをおさえておこう。cloth の th は[θ]。clothe の th は[ð]。これは bath と bathe、breath と breathe の関係と同じなので覚えやすい。

3. 「形容詞」「副詞」編

(1) 「早い」「速い」 ㊦頻出! ただし early, soonは時間的に「早い」のに対し fast, quickly等は動作・速度等が「速い」という点をおさえておけば大丈夫。

- ①early : 1. (予定・定刻より) 早く =soon ⇔late
(ex) How early[soon] will the show begin?
ショーはいつごろ始まりますか
2. (ある限定された期間内の) 早い時期に ⇔late
(ex) early[×soon] morning 早朝
early[×soon] in the evening 夕方の早い時間に

- ②soon : 1. (予定・定刻より) 早く =early
2. (ある時点から時間をおかないで) 早く、すぐに
(ex) Please come soon[×early]. すぐ来てください

- ③fast : (運動・速度が) 速い、機敏な ⇔slow
㊦「時計が進んでいる(はやい)」も、fastを用いる。
(ex) This watch is three minutes fast. ⇔slow
この時計は3分進んでいる
This watch is two minutes slow.
この時計は2分遅れている

㊦なお、「(時計が)遅れる、進む」といった意味を動詞のlose, gainで表現できる。

(ex) My watch loses[gains] two seconds a month.

私の時計は一月に二秒遅れる[進む]

- ④quickly, rapidly, swiftly : (動作等が) 速く、機敏に

(2) 「高い」「安い(低い)」 ㊦頻出!

- ①high ⇔ low : (値段 給料 賃金 温度等が) 高い ⇔ 安い[低い]
㊦reasonable[=affordable]は、「(値段が)手ごろな」。
ちなみにsalary「給料」、income「収入」に関してはlarge/smallを用いてもいい。

- ②expensive ⇔ inexpensive : (物が) 高価な ⇔ 安価な
=cheap

(ex) This camera is very expensive/ inexpensive[×high/ low].

The price of this camera is very high/ low[×expensive/ inexpensive].

(3) 「多い」「少ない」「大きい」「小さい」 ㊦頻出!

① 大小を large⇔small で表す名詞。

(ex) audience「聴衆」 population「人口」 number「数」 family「家族」 amount「量」
quantity「量」 sum「金額」 income「収入」 salary「給料」 fortune「財産」

㊦income, salaryについては「high/ low」を用いてもいい。

② much ⇔ little : [数えられない名詞について] (量が) 多い、少ない

③ many ⇔ few : [数えられる名詞について] (数が) 多い、少ない

④ 「交通量(traffic)」が「多い・少ない」は heavy ⇔ light。

㊦ただし、street「通り」の人通りが多い場合にはbusyを用いる

⑤ 「頻度」が「多い・少ない」は often, frequent(ly) ⇔ rare(ly), seldom。

(4) 「広い」「狭い」 ㊦頻出!

① 「面積」: large ⇔ small

② 「幅」: wide ⇔ narrow

(5) 「重い」

① heavy : (重量等が) 重い

② heavy : (責任・気分等が) 重い

㊦「気分が重い」はdepressed, oppressive、「責任が重い」はgrave, importantも用いる。

③ serious : (犯罪・刑罰・病気・傷・事態等が) 重い、深刻な、重大な

④ sharp[acute] : (痛み等が) 激しい

(6) 「軽い」

① light : (荷物・食事等が) 軽い

(ex) a light meal 軽い食事

② slight : (風邪・痛み等が) 軽い

(ex) a slight cold 風邪気味

③ minor : (犯罪・傷等が) 軽い

(ex) a minor offense 軽犯罪

④ mild : (刑罰等が) 軽い

(ex) a mild punishment 軽い罰

⑤ thoughtless : (行為等が) 軽率な =rash, imprudent

(7) 「濃い」「薄い」

- ①「コーヒー、お茶」：strong ⇔ weak ㊦頻出!
- ②「味」：thick ⇔ thin
 ㊦ちなみに味が「辛い」は hot, sharp.
- ③「色」：deep(深い), dark(暗い) ⇔ light, pale, faint
- ④「(霧、髪、ひげといったものの)密度」：dense, thick, heavy ⇔ thin

(8) 「厳しい」 ㊦頻出!

- ①punctual：(時間に対して)厳格な、時間厳守の
- ②strict：(規則等に対して)厳しい、厳格な

(9) 「生きている」 ㊦頻出!

- ①living：限定用法(つまり形容詞が、前から名詞にかかる用法)、叙述用法(つまり形容詞が、後ろから名詞を修飾したり、補語になったりする用法)どちらにも用いることができる。
 (ex) all **living things** すべての生き物
 He is still **living**. 彼はまだ生きている
- ②alive：叙述用法のみで、限定用法はない。
 (ex) ○The lion is **alive**.
 ×an **alive** lion
- ③live：限定用法のみ。叙述用法はない。
 (ex) ○a **live** whale ㊦正し「人間」には使えない。
 ×The whale is **live**.

(10) 「遠い」「離れている」

- ①far：漠然と遠く離れていることを表わし、**通例否定文・疑問文**で用いる。
 肯定文ではa long way (off[away])などを用いる。ただしtoo, so, as, very, away, offなどを伴うときは肯定文でも用いられる。
 ○My house is a long way (off[away]) from the station. 私の家は駅から遠い
 ×My house is far from the station.

 ○Is the station far from here?
 ○The house is not far from here.
 ○How far is it from here to the station?

②distant : 簡単に到達できない非常に遠方を表わす。

×My house is distant from the station.

○The moon is distant from the earth.

③ faraway(形), far-off(形) : farを強めた形でやや堅い語。 remote(形) は辺ぴ・不便さを暗示し到着の困難を表わす。

(ex) a house remote from the village 人里離れた家

faraway places 遠方の場所

④away : 距離や時間を表す名詞の後につけて「○○の距離(時間)を置いて」、「○○だけ離れて(先に)」。

(ex) The lake is three miles away [×far] from here.

湖はここから3マイル離れている

The exams are only a week away. 試験までもう1週間しかない

I was two months away from graduating from high school.

高校卒業まであと2か月だった

☞上記のような具体的な距離を表す名詞があった場合には far は用いない。

(1) very と much の使い分け

①形容詞・副詞を修飾する「とても」は very、動詞を修飾する「とても(あまり)」は much。

(ex) She is very [×much] beautiful. 彼女はとても美しい
(形)

He runs very [×much] fast. 彼はとても速く走る
(副)

I don't like the picture much. 私はその絵があまり好きではない
(動)

☞動詞を修飾する場合には、動詞の後ろ、または文末に置く。

I like the picture very much. 私はその絵がとても好きだ
(動)

☞このように肯定文では「very much」の形で用いる。

② much は「比較級」「最上級」を強調することができる。

(ex) It is much better than the others. それは他のものよりはるかに良い
[比較級]

This is much the best. これがずばぬけてよい
[最上級]

③ very は「最上級」を強調することができる(「比較級」を強調することはできない)。

(ex) This is the very best. これがずばぬけてよい

【最上級】

Ⓜmuchとは異なり、冠詞のtheの右側におかれる点に注意せよ。

④分詞を修飾する「とても」は

(1)現在分詞には very を用いる。

(ex) This book is very interesting. この本はとても面白い

【現在分詞】

(2)過去分詞には much を用いる。

(ex) His attitude was much disliked. 彼の態度はとても嫌われていた

【過去分詞】

Ⓜただし、いくら過去分詞でも「受身」の意味を失ってしまった(つまりほとんど形容詞化してしまった)ようなものにはveryを用いる。

a very complicated problem 非常に複雑な問題

I am very tired. 私はとても疲れている

I was very surprised at the news. 私はその知らせにとっても驚いた

Ⓜこの場合、much surprisedも可能。

She came to me with a very worried look.

彼女はとても心配そうな顔つきでやってきた

⑤特定の叙述形容詞では原級にもmuchを用いることがある。

He was much afraid of her. 彼はひどく彼女を恐れていた

She is much[very] different from her mother. 彼女は母親には全然似ていない

He is much[very] like his brother. 彼は兄にそっくりだ

⑥very は so で言い換えられ、much は greatly で言い換えられる。

very =so

much =greatly

⑦much は「too+形容詞(副詞)」を強調する。 Ⓜ頻出!

(ex) This is much[×very] too heavy. これは重すぎる

⑧much は「前置詞+名詞」を強調できる。

(ex)Much[×Very] to my surprise, he finished it by himself.

大変驚いたことに、彼は一人でそれをやってしまった

⑨much は the same を修飾できる。

(ex) These pictures are much[=almost] the same. これらの絵はほとんど同じだ

Ⓜmuch the same A で「ほとんど同じA」の意味になる。

(12) 「〇〇ぶりに」 會これは英作文用におさえよう。

①for the first time in 〇〇 : 〇〇ぶりに

(ex) for the first time in 40 years 40年ぶりに
for the first time in ages[(many) years] 久しぶりに
[a long time]
[a long while]

②after 〇〇 years' absence[away] : 〇〇年ぶりに

=after an absence of 〇〇 years

(注)この表現が使えるのは「不在であったのが〇〇ぶりに帰って来る(来た)」という場合のみ。

(ex) ○I returned home after 30 years' absence. 30年ぶりに我が家に戻った
×I met him after 30 years' absence.

③It has been[It is] a long time since S+V~ 等の形を用いて表現する。

(ex) It's been ages[a long time] since I saw you last. 久しぶりだね
=I haven't seen you for ages[a long time].

④「大雨」「大地震」「暑さ」「寒さ」等の程度を表す名詞(形容詞)が「〇〇ぶりの(の)」の後に置かれている場合は、最上級を用いて表現する。

(ex) This winter is the coldest in forty years.

この冬は40年ぶりの寒さだ

This was the heaviest snowfall in ten years

これは過去10年間で最も多い雪だった ⇨ 10年ぶりの大雪

This is the severest earthquake in fifty years.

これは過去50年間で最もひどい地震だ ⇨ 50年ぶりの大地震

(13) ago と before の使い分け。 會頻出!

①ago : 「今から〇〇前に」という意味。

1.単独では用いない。

(ex) I have seen him before[×ago].

2.過去時制と共に用いる。現在完了と共に用いない。

②before : 1.単独で、現在完了・過去時制・過去完了と用いる。

「(今より)前に、以前に、今まで(に)」という意味。

(ex) I (have) heard of it before.

前にそのことを聞いたことがあった(ある)

2.具体的な期間を示すと(the day before, two days before等のような形で)過去完了と共に用いる。

「過去の一時点を基準として、それよりも〇〇日(月・年)前に」という意味。

(ex) I had met her two years before.

その2年前に彼女に会ったことがあった

「(ある過去の一時点を基準にして)その2年前に彼女に会ったことがあった」

(ex) He said he had met her two weeks before.

=He said, "I met her two weeks ago."

彼女には2週間前に会ったと彼は言った

④直接話法の伝達内容の ago は間接話法では通例 before になる。

(14)「ある～」

① a[an]～ : その詳しい内容についてはっきり知らない場合に用いる。

② some～ : a[an]と同様、単数名詞の前について、はっきり知らないときに用いる。

無関心や軽蔑の意味がこもることがあるので堅い文章には用いない。

③ a certain～ : 人や物について、知っていても明らかにしないときに用いる。

④ one～ : 主に時を表す名詞の前に用いる。

(ex) He set out on a trip one day in May.

5月のある日、彼は旅行に出かけた

(15) 時を表す副詞と使用される時制

① just now : 1. 「ちょうど今」 ⇨ 現在時制で

2. 「ついさっき」 ⇨ 過去時制で

② nowadays : 「今では」 ⇨ 現在時制で

③ these days : 「このごろは」 ⇨ 現在時制で(時に現在完了けいで)

④ recently : 「最近」 ⇨ 過去・過去完了・現在完了形で

⑤ lately : 「最近」 ⇨ 現在完了形で

(注1) latelyが現在形と共に用いるのは習慣的反复行為や継続状態にあることを示す場合。

(ex) I'm not feeling well lately. この頃気分がすぐれない

(注2) latelyが過去形で用いるのは結果が現在まで継続している場合に限る。

(ex) He lately moved into the apartment.

彼は最近そのアパートに引越した

Ⓜ上記のルールはちょっと細かすぎるので、受験用には以下のルールをおさえておけばいい。

①just や now は「現在完了形」と共に使えるが、just now は「現在完了形」とは共に使えない。

②nowadays や these days は「現在時制」で用いる。

特に nowadays が「現在完了形」では絶対に使わない点に注意。

(ex) Recently[×Nowadays] juvenile delinquency has been on the rise.

近ごろ少年犯罪が増えた

③recently や lately は「現在完了形」で用いることが多い。

特に recently が「現在時制」では絶対に使わない点に注意。

(ex) Nowadays[×Recently] I go to church. 近ごろ教会に通っているんだ

(16)「まだ」 Ⓜstillは肯定文、yet は否定文で使うと覚えておこう。

①still : [通例肯定文で]「まだ」「(今も[その時も])なお」⇔no longer「もはやない」

Ⓜ否定文で用いることもあるがその場合、否定後の前に置くのが普通。

(ex) I **still** haven't written to her.

まだ彼女に手紙を書いていない

Ⓜしばしば長く続いていることに対して意外・驚きを表す。英文の中で
の位置は、not を置く位置と同じ。

(ex) Oh, dear, it's **still** raining. まあいやだ。まだ雨が降っているわ

He will **still** be here tomorrow. 彼は明日もまだここにいるだろう

②yet : [否定文で]「まだ」「今[その時]までのところ」

Ⓜまだ起きていないことに対して驚き、不満を表す。通例文尾に用いる
が、書き言葉では否定語の直後に用いることもある。yet not の語順
はない。通例過去時制、現在完了時制で用いる。

(ex) He hasn't come home **yet**. まだ彼は帰宅していない

Ⓜ肯定文で yet が「まだ」「依然として」を意味することもあるが、
stillの方が普通。yet を用いると感情的色彩を帯びる。

進行形・継続の意を表す動詞と共に用いる

(ex) The baby is crying **yet**. 赤ちゃんはまだ泣いている

(17) 「きびしい」。

①strict : 規律・規準など(を厳守すること)に対して厳しい、厳格な

②punctual : (時間に対して)厳格な、時間厳守の

③severe : 人の落ち度や弱点を許さず不親切なまでに厳しい

Ⓜまた severe は「(刑罰・事態等が) 厳しい(重い)、深刻な、重大な」という意味でも使われる。

④stern : 厳格で容赦なく服従を求める

⑤rigid : 頑固なまでに厳しい

(ex) 「厳しい裁判官」 a strict[severe, a stern] judge

「厳しい規律」 rigid[severe, stern, rigorous] discipline

「厳しい罰」 a harsh[severe] punishment

「冬の厳しい寒さ」 the intense[severe] cold of winter

「厳しい訓練」 hard training

「厳しい経済状況」 a tense economic situation

※tense は「(事態が)緊迫した」という意味。

「彼は子供に厳しい」 He is strict[severe, stern, harsh(辛く当たる)] with his children.

He is hard on his children.

※厳格さの程度はsevereの方がstrictより強い。

「あの先生は文法には厳しい」 That teacher is strict about[on] grammar.

「今年の冬は大変厳しかった」 We had a very severe[hard] winter this year.

(18) 「はずかしい」 Ⓜashamed と shameful の違いをおさえておこう。

①ashamed : 道徳的な過ちや失敗、愚行について自分自身に罪悪感や責任があつて恥ずかしいと思う気持ちを表す。

Ⓜashamedは「人」を主語とし、「(人が)はずかしい」。叙述的用法のみに用いる。

shamefulは「物事、態度等が恥ずべき」を主語とし(あるいは「物事」を修飾し)、「(物事等が)恥ずべき」。叙述的にも限定的にも用いる。

(ex) He is ashamed because he did a shameful[×an ashamed] thing.

His attitude is shameful[×ashamed].

②embarrassed : (一時的に)きまり悪いときや当惑などの気持ちを表す。

③self-conscious : 人目を気にして落ち着かない[あがる]ときの気持ちを表す。

- ④shy : 内気や引っ込み思案で照れくさい気持ちを表す。
- ④bashful : 子供特有の恥ずかしさで、大人に用いたときは極端な内気を表す。
- ⑤humiliated : 屈辱感を表す。

(19) 「おちつかない」

- ①uneasy : […のことで/…のために/人に対して]不安な、心配な、落ち着かない
(ex) This tipping business always makes us uneasy.
チップという面倒なことでいつも落ち着かない
- ②uncomfortable : […について/人に対して]心地よく感じない、落ち着かない
- ③awkward : [(人が)人の前で]落ち着かない、どぎまぎした
- ④restless : [(人などが)~の事で]落ち着かない、そわそわした
(ex) a restless child 落ち着かない子供
- ⑤nervous : […を前にして]不安になって、緊張して、不安な
- ⑥ill at ease : [(人前で)不安な、落ち着かない]

(20) 「近い」

- ①near : [場所的・時間的に] […に] 近い、近くの [to] ⇔far
(ex) The bank is near to the station. 銀行は駅から近い
- ②close : 「 [時間的・距離的に]ほとんど接触するように近い」ことをいう。
(ex) a close view 近景
at close range 近距離で
The hut is close to[×from] the lake. 小屋は湖のすぐ近くにある
The festival is getting close. 祭りが近づいている
Our ages are very close. =We are very close in age.
私たちの年齢はごく近い

⚠「場所に近い」という意味では、near は限定的には(つまり名詞を修飾する用法では)使えない。

限定的に名詞を修飾するには、nearby を用いる。

(ex) She went to a nearby[×near] restaurant.

彼女は近くのレストランへ行った

(注)このように限定的に名詞を修飾するには、nearbyを用いる。逆にnearbyは叙述的に(つまり補語としては)使えない。

(ex) The bank is near[×nearby] to the station.

cf; ○She went to the nearest restaurant. ⚠ややこしいが、最上級のnearestは名詞を修飾できる。

會上記のことも含め、near と nearby をもう一度整理してみると、

1.near は形容詞、副詞、前置詞の用法がある。

2.nearby は形容詞と、前置詞としての用法がある。

両者の違いが大事な点は形容詞での用法。

1.near は補語としてしか使えず、**名詞を修飾できない**。

○The town is near.

×The near town

2.nearby は逆に名詞を修飾することしかできず、**補語にはなれない**。

○The nearby town =The town nearby

×The town is nearby.

副詞としての near の例文は以下の通り。

(ex) sit near: そばに座る

會この例文では、near は動詞の sit を修飾しているので副詞と分かる。

(21) 「意外と」

①「意外にも(=思いがけないことに)」→ unexpectedly

(ex) Unexpectedly[To our surprise] he turned out to be a famous actor.

意外にも(=思いがけないことに)彼は有名な役者だった

②「意外に(=予期していたより)」→ 比較級+than A (had) expected[thought]

(ex) The results of the examination were worse than I (had) expected[thought].

試験の結果は意外に(=予期していたより)悪かった

(22) 「賢い」「頭がいい」 會①と②の違いが頻出!

①wise : 知識・経験が豊富で正しい判断ができること。「知恵がある」。 =sensible
人格も立派なことを意味する。

②smart, clever : 生まれつき頭が良く、手先も頭も器用に働く(回転が速い)の意。

特にアメリカでは「ずる賢い」「計算高い」といったよくない意味で使われることが多い。

(ex) a smart[×wise] dangerous fellow 才気走って危険なやつ

③bright, brilliant : これらは共に頭のよさを言うが、特にbrilliantは並はずれて頭が良いこと。またbrightは子供について(心の動きや態度などが活発な点に関して)言

うことが多い。

④intelligent : 「理解力が十分ある」の意で、(人や動物が)生まれつき知能が高いこと。

intellectual : 「理解力がすぐれて高度の知識をもつ、理知的な」の意で、蓄積された(教育によって生じた)能力を言い、人間のみを使う。

(ex) an intelligent[×intellectual] dog 利口な犬

an intellectual person 理知的な人

An animal may be intelligent but can never be intellectual.

動物は利口であっても決して知性的ではありえない